



Society5.0
SDGs未来都市

宇部市 高齢者の 多世代交流について

市制施行100周年その先の未来へ



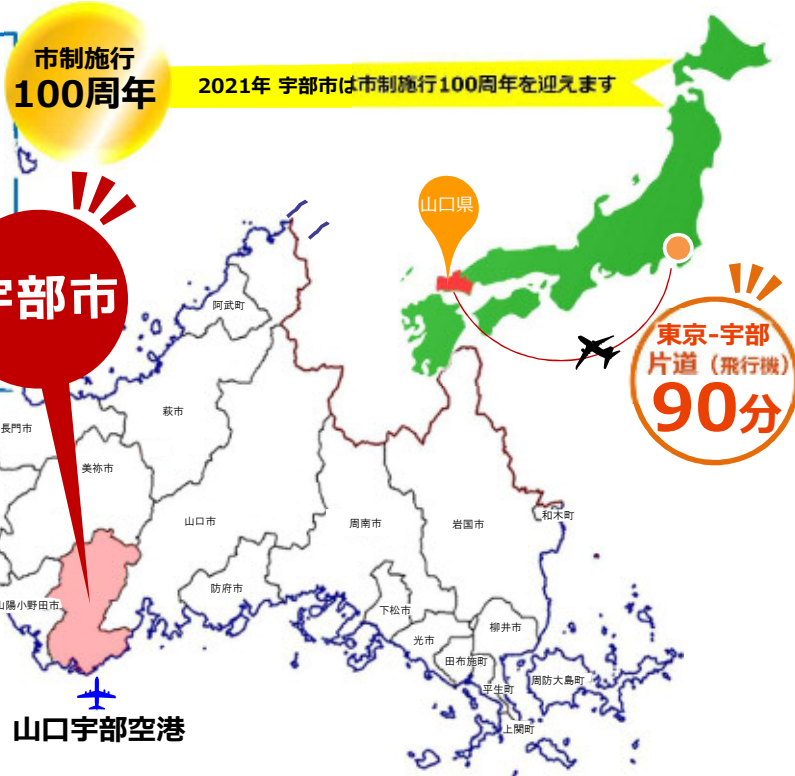
令和2年2月
宇部市

本日の流れ

1. 宇部市のご紹介
2. 「人財が宝」 みんなでつくる宇部SDGs
3. 宇部CCRC
4. 地域共生社会の実現に向けた取り組み
5. Society5.0に対応したまちづくり

1. 宇部市のご紹介

- 人口：164,899人 (H31.4.1)
(男：78,694人／女：86,205人)
- 面積：286.65km²
- 世帯数：79,228世帯 (H31.4.1)
- 平均気温：16.3度 (H27年)
- 降水量：1,614mm (H27年)
- 高齢化率：32.7% (H31.4.1)



本州の最西端、山口県の南西部に位置する**工業都市**



- 陸海空そろった交通環境**
 ■山口宇部空港 ■山陽新幹線新山口駅・厚狭駅 ■山陽自動車道宇部IC・国道2号 ■山口宇部道路
- フルラインナップの教育・研究機関環境**
 ■山口大学(医学部・工学部) ■宇部フロンティア大学 ■宇部高専 ■山口県産業技術センター
 ■JAXA西日本衛星防災利用センター ■宇部市メディカルクリエイティブセンター
- 安心！充実の医療・介護環境**
 「医療介護施設が充実している」と評価した圏域の主な自治体41のひとつに選ばれています。



まちの困難を市民協同で克服

世界一と言われた降下
煤塵（1950年代）



産・官・学・民一体で
公害克服（1980年代）



UNEP Global 500
（1995年）受賞



宇部方式

宇部SDGsを支えるまちの歴史



2. 「人財が宝」 みんなでつくる宇部SDGs

第四次宇部市総合計画

ひとが元気

地域が元気

まちが元気

後期実行計画

2018年、SDGs未来都市に選定
“魅力・活力・「人財」にあふれた
「共存同栄・協同一致」のまち”



第2期宇部市まち・ひと・しごと総合戦略の取組

【基本目標1】

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、
子どもの夢を育む教育を推進する

【基本目標2】

「稼ぐ力」を強化するとともに、
安心して働けるようにする

【基本目標3】

関係人口を増やし、新しいひとの
流れをつくる

【基本目標4】

ひとが集う、安心して暮らすことが
できる魅力的な地域をつくる

【横断的な目標1】
多様な人材の活躍を推進する

【横断的な目標2】
新しい時代の流れを力にする

3. 宇部市のCCRC

宇部市CCRC構想

移住対象者	アクティブシニアにとどまらず、 子育て世代を含めた様々な世代
対象地域	市内全域
移住の形態	大都市からの移住 拠点地域への市域内転居
生活居住環境	既存の高齢者施設や空き家等の活用 民間資金の活用を含めた住宅等の整備
地域との関係	地域支え合いの一員として活躍

移住定住施策



移住定住サポートセンター、U I J 奨励助成、**専門人材の誘致**、
住宅情報バンクの充実

田舎暮らしの本 「住みたい田舎」

総合部門で全国 **1** 位 ランクイン！



シニア部門 ②位
若者部門 ⑭位
子育て部門 ⑪位



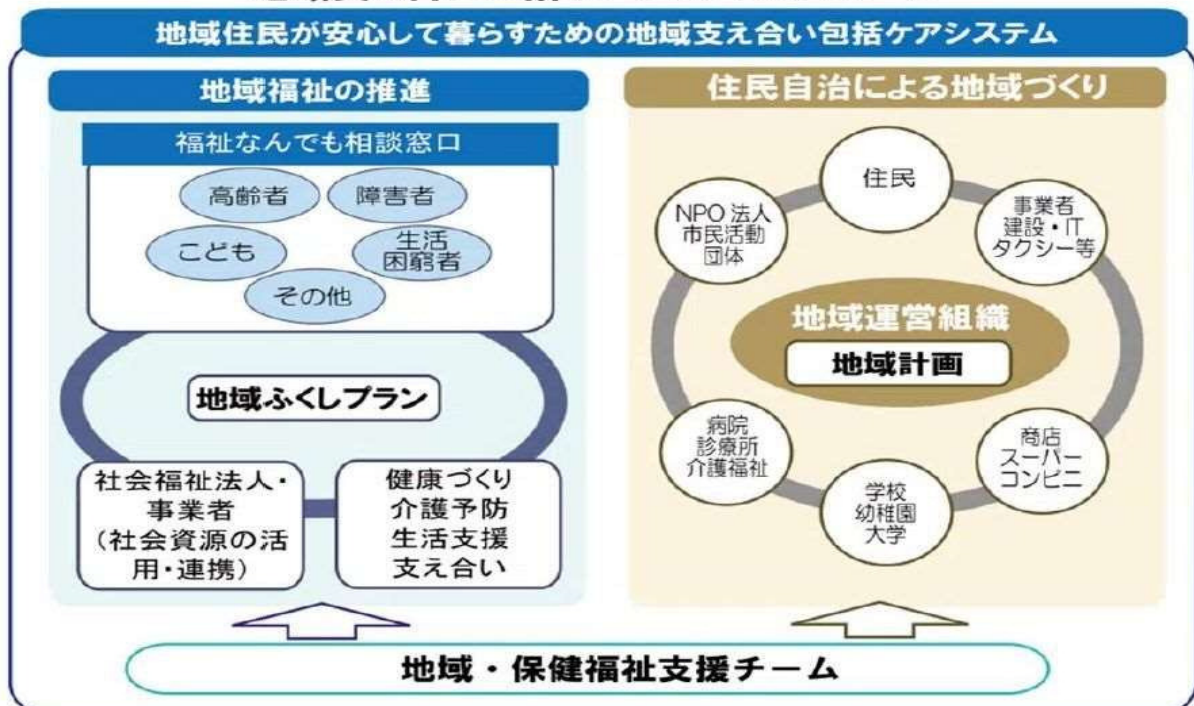
宝島社「田舎暮らしの本」
2020年2月号

- ・移住サポート体制 や 各種移住支援策の充実
- ・都市機能と田舎の風情を併せ持つ環境
- ・医療・福祉の充実 や 健康づくりへの取組
- ・空港をはじめとした交通の利便性
- ・移住者数の増加

4. 地域共生社会の実現に向けた取組

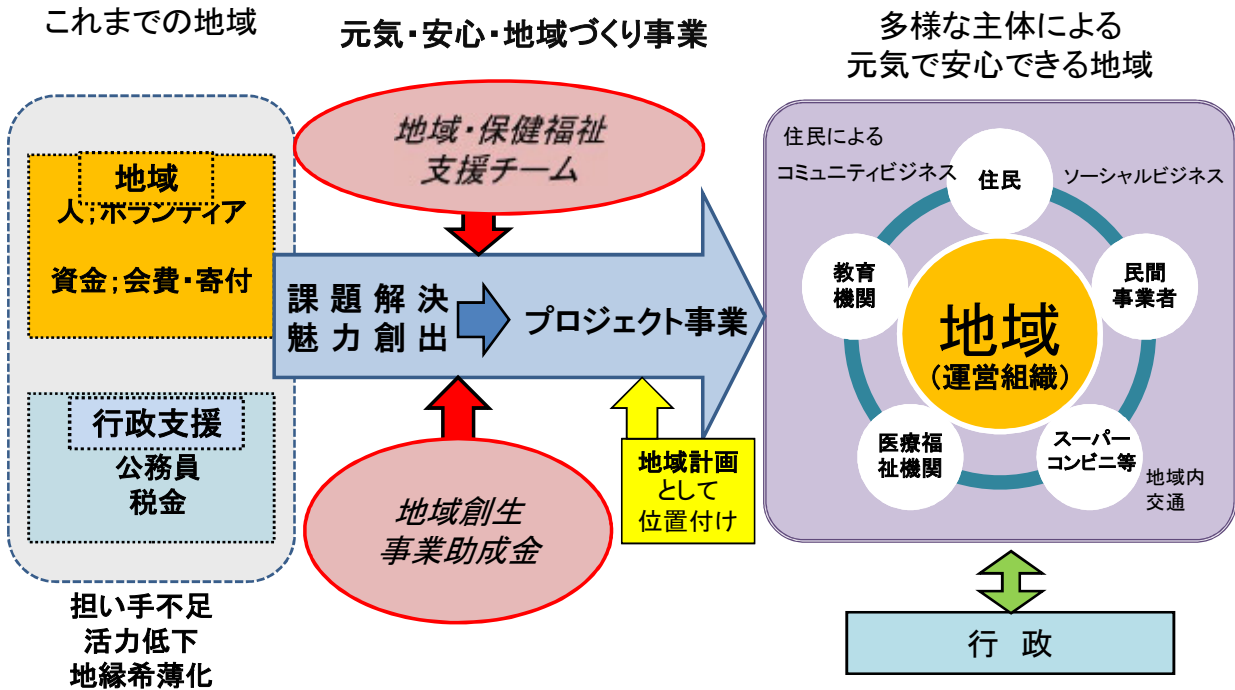
① 地域支え合い包括ケアシステム

さまざまな世代が支え合う元気で安心できる地域づくり
地域支え合い包括ケアシステムのイメージ



② 地域・保健福祉支援チーム

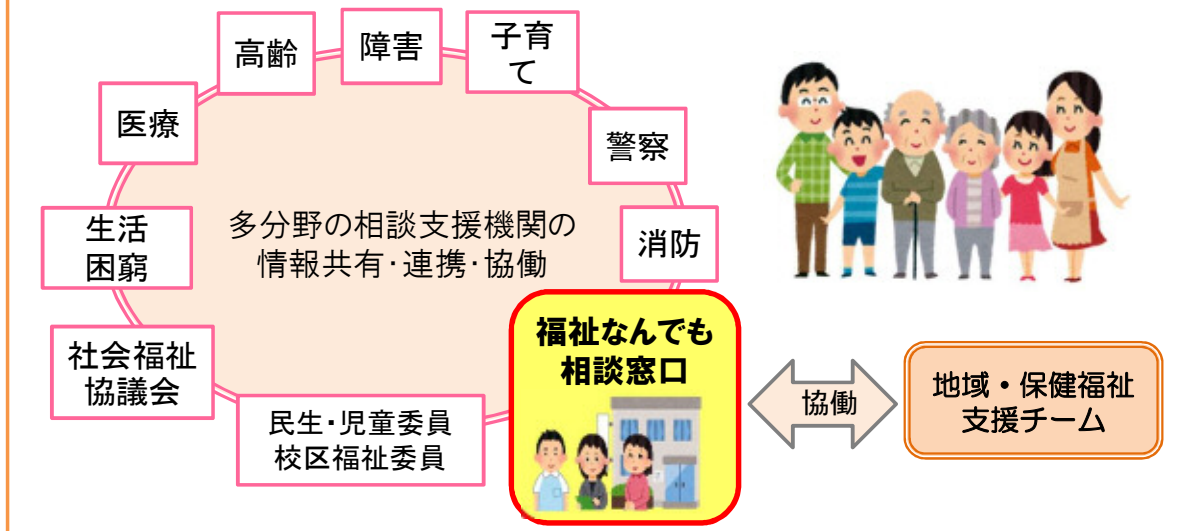
さまざまな世代が支え合う 元気で安心できる地域づくり



③ 福祉なんでも相談窓口（断らない相談支援）

地域包括支援センター（10か所）・障害者相談支援事業所（4か所）・宇部市社会福祉協議会（1か所） 計15か所に『福祉なんでも相談窓口』を設置

縦割りの支援から横つながりの支援に



④ ご近所ふれあいサロン

子どもから高齢者まで
だれもが集い交流できる地域拠点
(200か所整備)

活動支援

- ・立ち上げの支援
- ・活動費の助成
- ・情報交換会の実施
- ・チラシ、HP等による情報発信

地域への効果「友達・仲間づくり」



からだへの効果「健康づくり」
(認知症予防)



こころへの効果「生きがいづくり」



⑤ 宇部市多世代ふれあいセンター

高齢者を始めとした市民の福祉の増進と
生活の向上及び多世代の交流を図るための
施設

効果

- ・地域共生社会の実現
- ・多岐に渡る
相談機能の充実
(包括的な支援)

社会福祉協議会
老人クラブ連合会
シルバー人材センター
行政 等

連携・支援



生活相談
サポートセンター

発達障害等相談
センター



若者ほっとカフェ

若者ふりースペース



こどもすくすく
プラザ



ふれあい塾

⑥ 「ちょこっと活動・就労・活躍」事業

- ・時間を自由に使える働く意欲のある高齢者の社会参画を支援
- ・高齢者も高齢者を支え、社会参加することそのものが社会貢献という仕組みの構築



例えば・・・

《事業所・団体》

- お中元やお歳暮の時期に短期で活動できる人を募集したい
- 午前中だけ子守りができる人がいればお願いしたい

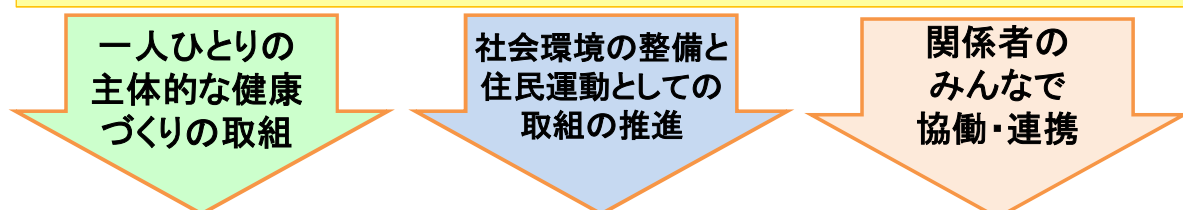
《高齢者》

- ピアノの講師をしており、老人ホーム等での出張演奏や個人指導が可能
- 週に2日、2、3時間働きたい

⑦ SWC(スマートウェルネスシティ) 2019年度～

SWCとは

地域住民が「健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を送れること」= 「**ウェルネス(健幸)**」
をまちづくりの中核に位置づけ、
住民が健康で元気に幸せに暮らせることを目指す
新しいまちづくりの形



健康づくり、介護予防、生活習慣病の改善・重症化予防

- はつらつ健幸ポイント
- あなたにぴったりの個別運動プログラム

筑波大学、
タタヒルシアと
連携

飛び地型自
治体連携
(5市町)

ICT
等活用

5. Society5.0に向けたまちづくり

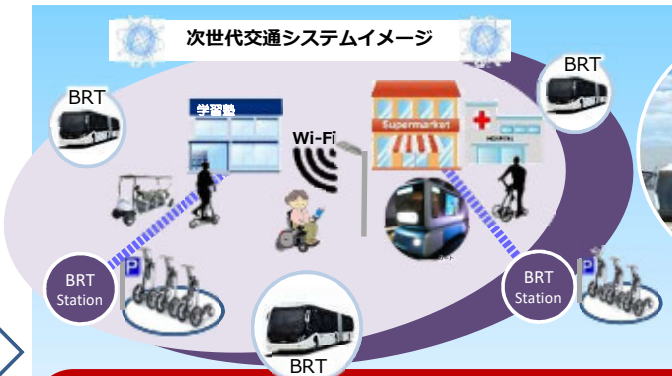
① コンパクトシティに向けて

多極ネットワーク型
コンパクトシティ



地域支え合い
包括ケアシステム

人口減少・高齢化社会
公共交通の維持困難
交通弱者の増加



BRT: バス・ラビット・トランシット

安全で利便性の高い **グリーンスローモビリティ**
「使いやすく、持続可能な地域公共交通網」



5G環境の整備



宇部市